

ていきます。必要な方に必要なサービスが適切に提供できる体制整備を行い、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業を実施します。

放射線健康管理事業

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査に加え、放射線出前講座や講演会を実施し、放射線による健康不安の軽減に努めていきます。町民の食品に対する安心・安全を確保するため、公民館において自家消費野菜等の放射能のスクリーニング検査を引き続き実施します。

新型コロナウイルス感染症対策

65歳以上の高齢者等や町内に帰省を希望する学生、成人式参加者を対象にPCR検査助成事業の継続、インフルエンザ予防接種助成対象を全町民に拡大し、感染拡大防止を図ります。町民の皆さまの理解を得るため、安心な生活の営みが可能となるよう広報活動に取り組みしていきます。

土地利型農業の収益向上を図るため、基幹作物である主食用米の特別栽培米や有機栽培米を促進し、付加価値の高い米の生産に取り組みます。

り組んでいきます。

新型コロナウイルスワクチン接種体制

的確な情報発信を行い、3回目ワクチン接種を円滑に進め、町民の皆さまが確実に接種できる体制を整えていきます。



新型コロナウイルスワクチン集団接種

母子保健

子育て世代へ寄り添いながら支援の充実を図るとともに、妊産婦健康診査、乳幼児健康診査、各種予防接種助成事業、乳幼児等医療費助成事業を引き続き実施いたします。出生並びに子育てに悩むご夫婦の経済的負担を軽減するため、特定

ふるさと納税制度を活用し、寄附をしていただいた納税者の皆様に、広野産特別栽培米コシヒカリや広野産米で造った日本酒、広野産無農薬バナナ「綺麗」などを返礼品として送付することにより、本町の基幹産業である農業の魅力や地域ブランドの情報発信を行い、特産品の販売促進や消費拡大を図り、地域経済の活性化に繋がります。令和4年度においても返礼品の品数を増やすため、魅力ある商品の発掘に取り組みます。町農産物の価値を伝え、販売・消費の拡大を図



ほ場整備

不妊治療および一般不妊治療、不育治療について、引き続き医療費助成を行っていきます。

児童虐待

役場内関係各課および児童相談所等の福祉関係機関、学校等の教育関係機関、警察関係機関等との連携を図り、虐待防止、早期発見に取り組みしていきます。

交通安全対策

広野町安心・安全ネットワーク会議をはじめ関係機関と緊密な連携を図り、立哨活動を通し交通事故防止を呼びかけます。高齢者が当事者となる交通事故の減少を図る高齢者運転免許証自主返納支援事業と高齢運転者によるアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる事故を防止するための自動車急発進防止装置を設置する経費の一部を支援する安全運転支援装置設置事業を引き続き実施します。

防犯対策

地域住民が安心して生活するために、秋には収穫祭を開催するとともに、町外で開催される様々な物産展等のイベントに積極的に参加します。

担い手農家の経営規模拡大、効率的かつ安定的な農業経営が行なえるよう、国、県、関係機関と連携を図り、町内7地区のほ場整備事業を継続して取り組みます。農業における高齢化、後継者不足、耕作放棄地等の増加などの人と農地の問題解決を図り、地域農業を守り次世代に引き継いでいくことを念頭として、担い手農家へ効率的な農地の集積・集約を図るための「人・農地プラン」の実質化と農地中間管理事業の活用を推進に取り組みます。農業振興と農業後継者を確保するため、広野町農業次世代人材育成奨学金により、その修学に必要な資金を貸付し、農業経営の安定と優れた農業担い手の確保を目指します。

プレミアム付商品券

町民等の経済的負担を軽減

できるよう、広野町警戒パトロール隊を組織し、双葉警察署、防犯指導隊等関係団体と連携を図り、町内における犯罪抑止や災害時の初期対応により、町民や町外から避難している滞在者等が安心して生活できる環境整備に取り組みます。犯罪に対する抑止力の向上を推進するため、住宅用防犯カメラの設置者に対し経費の一部を引き続き支援します。

防災・防火対策

東日本大震災の教訓を活かし、地震による津波から地域住民の生命を守るため、関係機関と連携のもと、津波避難訓練を実施します。消防団、婦人消防隊と連携し、火災予防啓発活動を実施します。

町内インフラ施設の維持管理および整備

道路、橋梁、トンネル、下水道施設の点検を実施し、道路や下水道施設の計画的な補修による施設の長寿命化を図り、安全確保に

減させ、需要を喚起することで地域経済の活性化を図るとともに、いまだ避難している町民の帰還を促すことを目的にプレミアム付き商品券を発行します。令和4年度においても、町民および町に法人登録している事業所や商工会加盟店に勤務している方を販売対象者として事業効果の拡大を図ります。



プレミアム商品券販売会

旧広野幼稚園舎を改修整備した文化交流施設

既存の公民館活用に加え、多くの人が集う新たなコミュニティの場、新しい活動拠点の場、交流の場を



津波避難訓練

取り組みます。

道路整備につぎましては、危険箇所、未改良区間の解消を計画的に実施し、町民の生活環境の向上を図るとともに、安心安全な道路網を形成し、有事の際の緊急車両の通行および通勤時の安全確保を図っていきます。

「人を活かす」に ついで事業

農業
営農再開10年目となります令和4年産米の作付けについて、福島県より生産面

して町民憩いの場となり、地域づくりの基盤となるような町の財産として、町民が歴史をはじめ多くの文化に触れ、受け継ぎ、創造し、発信する「文化の薫り高いまちづくり」の推進に取り組みます。

「未来をつくる町」に ついで事業

移住・定住、企業誘致、雇用創出

原発避難地域では、現在まで帰還を促進する施策を中心に進められて来ましたが、それだけでは地域の復興・再生に限界があることから、国および県が12市町村と一体となった体制を構築し、移住促進事業を実施することで新たな活力を呼び込んでいきます。

町は、「第5次町勢振興計画」で定めた「子どもの歓声とともに新たな時代を拓くまち」を念頭に、「広野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で具体的なビ